

様式第2号（第6条関係）

意見交換会実施報告書

| | | | |
|------|--|---------|--------|
| 実施日時 | 令和3年7月16日（金）午後3時～4時30分 | | |
| 実施場所 | 砺波商工会議所4階 会議室 | | |
| 出席議員 | 有若隆委員長 | 川岸勇副委員長 | 山森文夫委員 |
| | 山本篤史委員 | 向井幹雄委員 | 境佐余子委員 |
| | | | |
| 参加者数 | 男性 11人 女性 0人 計 11人 （団体等の名称 砺波商工会議所） | | |
| 実施概要 | テーマ：コロナ禍における市内商工業者の現状と砺波市への要望及びこれからの課題について | | |
| | <p>【1 主な質疑】</p> <p>Q1 コロナ禍における商工業者の現状は</p> <p>A1 タクシーが、令和2年度では前年の50%、令和3年度では40%、バスでは50%以下と売り上げが大きく減少し、業績が厳しい状態である。</p> <p>今月から緩やかに動き出しているが大変な状況が続いている。ワクチン接種が進めば、徐々に回復するだろうとみている。</p> <p>代行業は、助成がないため厳しい状態である。個人の車を運転するため、その対策が大変である。時短営業といえども最低でも3～4人の待機が必要で、経費が掛かり経営が大変である。割引券などを使い、市外からも呼び込みたいと考えている。</p> <p>従業員の副業については、許可している企業もあると思うが、夜に副業として働いたことにより日中仕事で怪我をした場合に問題となり許可するのは難しいと考えている企業もある。</p> <p>工作メーカーでは、コロナ禍のため海外での営業活動が出来ないため受注量が減少している影響で、市内の下請け業者への受注が減少している。</p> <p>Q2 砺波市への要望内容について</p> <p>A2-1 プレミアム商品券について効果はかなりあり、今後も経済浮揚策の最短の方法と考えている。そのため、市の予算が許すのであれば今後もタイミングを計りながらプレミアム商品券の発行を進めて欲しいと考えている。</p> | | |

現在、市民限定のものであるが、市外の方も使えるものを提案できたらと考えている。

A 2 - 2 柳瀬工業団地の造成と企業誘致について、現在市が進めている柳瀬工業団地の造成については、民間の住宅団地の造成に比べて工業団地の造成を進むスピードが遅い。もっとスピード感をもって進めて欲しい。また、柳瀬工業団地への企業誘致については、スマートインターチェンジの地の利を生かして進めるべきであり、商工会議所の会員には全国の企業とのネットワークや人脈が豊富であることから、市は商工会議所と連携して進めるべきと考えている。

Q 3 商工会議所として課題としている事項について

A 3 中心市街地の商業は衰退しており、何とかして中心市街地の活性化を図っていきたいと考えているが、大変厳しい状況が続いている。

となみを元気になるような企画をし、ホテルのルートインも砺波に来るといふ話もあるが、行政と商工会議所が連携して企業誘致を進めるべきと考えている。

情報発信について、砺波市で検索したら何がでるのか、企業や飲食などのリンクをしていかに見てもらえるかを考えている。市のことをもっと発信してもらえるようなユーチューバーをつくるか、中学校の放送部にも参加してもらおうのかと考えている。

【2 その他の意見・要望等】

・ベルモンタの利用を促進することにより、県外から砺波へ来てもらえるチャンスだと考える。

・国道156号線沿いに小牧ダムまで、サイクリングロードを延長し、庄川でのラフティングを観光として取り入れてほしい。さらに、サイクリングされる方が増えてきており、サイクリングで砺波に来やすくするため、今の自転車にはスタンドがないものがあるので、休憩場所にはスタンドを設置して貰いたい。

・既存のものをもっと活用し、県外からも来てもらうことも大切だが、砺波市民も資源として企画したらどうだろうと考えている。

・街づくりに地元の高校生からいいアイデアを出してもらえるようにしたら良いのではないかと考えている。

【結び】

議論に波や風を興し互いに高めていいものにしていきたい。今回の意見交換会でいただいた意見・要望については、今後も継続して検討していきたい。